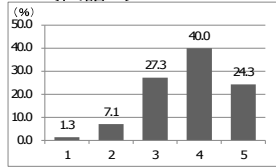


【別紙様式】

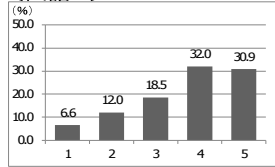
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

薩摩川内市教育委員会

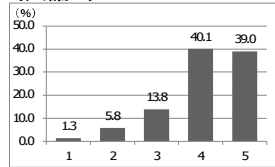
【小学校】
〔国語A〕



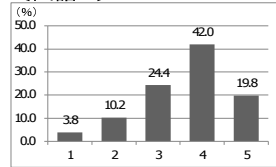
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



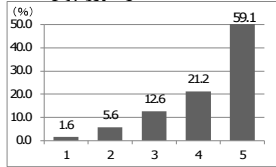
〈課題〉

- 5段階の分布状況から、国語Aは、県や全国と同様の分布が見られるが、3・4の段階の割合が約80%あり、上位層を増やしていく取組が必要である。国語Bも県や全国と同様の分布が見られ、活用する力が概ね定着していると言える。
- 文中の主語、文章の要旨を捉えることに課題が見られる。
- 複数の文を分析的に捉えたり、関連付けたりしながら自分の考えを書くことについて、依然として課題がある。

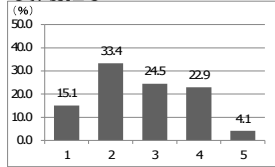
〈課題〉

- 5段階の分布状況から、国語Aは、4・5の段階が約80%あり、概ね基礎基本の定着が図られていると言える。国語Bは、県や全国と同様の分布が見られるが、更に上位層を増やしていく取組が必要がある。
- 小学校同様、文章の要旨を捉えることに課題が見られる。
- 伝えたい事実を明確に書いたり、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書いたりすることに課題がある。

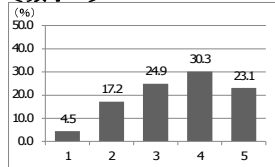
〔算数A〕



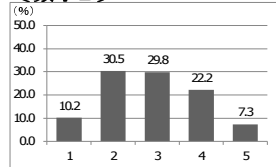
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



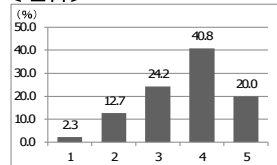
〈課題〉

- 5段階の分布状況から、算数Aは、5の段階の割合が多く、県や全国より高い水準にある。算数Bは、2・3の段階の割合が多く、更に上位層を増やしていく取組が必要がある。
- 作図に用いられる図形の構成や性質を図形の特徴と関連付けて捉えることに課題がある。
- 基本的な四則計算や図形の性質等は理解できているが、それを活用して求め方を説明することに課題がある。

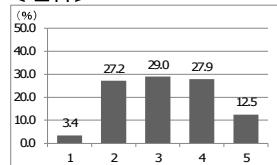
〈課題〉

- 5段階の分布状況から、数学Aは、2～5階級の割合に差がないこと、数学Bは、2・3の段階の割合が多いことから、基礎基本及び活用する力とも十分に定着していないと言える。
- 連立二元一次方程式、空間における直線と平面の垂直についての理解など、基礎基本の習得に課題がある。
- 垂直の作図で利用される図形の性質の理解など図形領域の基礎基本の定着に課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- 5段階の分布状況から、県や全国と同様の分布が見られ、全国より高い水準にある。5段階の割合が20%であることから、更に上位層を増やしていく取組が必要である。
- 顕微鏡の適切な操作及び、観察記録を基に、科学的な言葉や概念を使用して自然の事物・現象について考察したり、説明したりすることに課題がある。

〈課題〉

- 5段階の分布状況から、2～4の段階の割合が約85%に当たり、上位層の活用する力や下位層の基礎基本の定着を図っていく取組が必要である。
- 図表を基に結果を見出すことやなぜそのような結果になるのかといった原因や理由を考察することに課題がある。
- 他者の実験結果を検討し、新たな実験方法について説明することに課題がある。

【改善策】

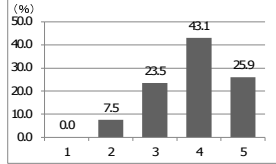
- 今後、以下示す事項について、本市の学力向上施策の実施の重点と取り扱うようにしていく。
- 〔小学校〕 (国語科)
 - 漢字やことわざ等の言語事項や主語と述語の関係などを継続して確認を行う指導の工夫
 - 書く活動の際に、読み手に伝えたいことの中心を明確にし、読み手に伝わるように整理して文章を書く指導の工夫
 - (算数科)
 - 図形領域を学習する際、実感を伴った理解ができるような観察や比較・検討する活動の工夫
 - 授業終末時における本時で学習した内容の確認と既習事項を活用した指導の工夫
 - (理 科)
 - 観察・実験の適切な方法による実施(中学校理科教諭の指導への協力)
 - 観察・実験結果の分析に関する協働的なグループ活動の工夫
 - 〔中学校〕 (国語科)
 - 語句の辞書的な意味を基にして、文脈に即して意味を捉えるような指導や語句を活用した家庭学習の工夫
 - 目的に応じて、文章の特徴を捉える指導の工夫
 - (数学科)
 - 実感を伴って理解を深める数学的活動と数学的用語を用いる言語活動の工夫
 - 資料を比較したり、傾向を読み取ったりする学習や読み取ったことを数学的表現を用いて説明する場の充実
 - (理 科)
 - 観察・実験結果及びまとめと日常生活とのつながりを実感させる学習過程の工夫
 - 観察・実験後のまとめの際の協働的な学習活動の工夫
 - (数学科・理 科)
 - 基本的な事項の定着のための指導の徹底(繰り返しの指導)と家庭学習の充実

【別紙様式】

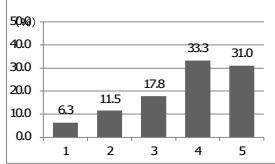
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

さつま町教育委員会

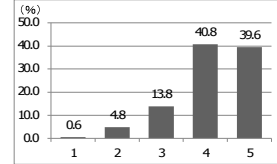
【小学校】
〔国語A〕



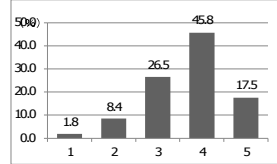
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



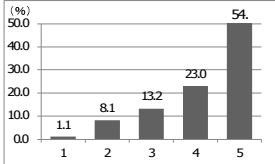
〈課題〉

・5段階の分布状況については、国語Aは、4と5段階が69%である。国語Bは、4と5段階が64.4%と昨年度と比較し約20%増加している。本町の児童は、基礎的・基本的な内容の定着は図られているが、それを活用する力の更なる伸びが課題である。
・目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことや、文章と図を関係付けて、自分の考えを書くことに課題がある。
・複数の情報を的確に関係付けてまとめることについての指導の充実が求められる。

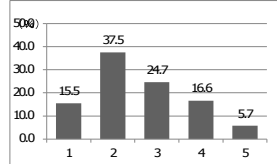
〈課題〉

・5段階の分布状況については、国語Aは、4と5段階が80.4%である。国語Bは、4と5段階が63.3%と昨年度より約30%増加している。しかし、活用する力の更なる育成が課題である。
・複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くなど、多様な情報に触れながら問題意識を持ったり新たな発想を得たりすることに課題がある。
・複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えることについての指導の充実が求められる。

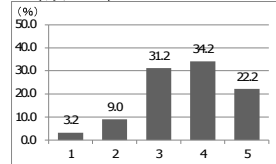
〔算数A〕



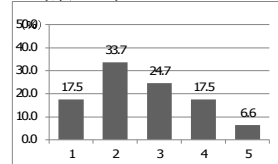
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



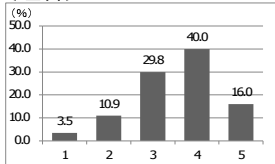
〈課題〉

・5段階の分布状況については、算数Aは、4と5段階が77.6%である。算数Bは、2段階が37.5%と多く、5段階は10%に満たない。本町の児童は、基礎的・基本的な内容の定着は図られているが、それを活用する力に大きな課題がある。
・割合の意味を理解し、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題がある。
・数量関係を整理して捉えた上で、基準量を求めることについての指導の充実が求められる。

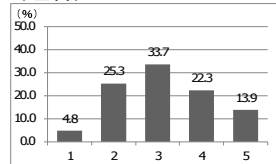
〈課題〉

・5段階の分布状況については、数学Aは、4と5段階が56.4%である。算数Bは、2段階が33.7%と多く、5段階は10%に満たない。本町の生徒は、基礎的・基本的な内容の定着、それを活用する力の育成共に課題がある。
・事象を式の意味に即して解釈し、その結果について、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
・日常的な事象の数学的な意味を考え、事柄が成り立つ理由を説明することについての指導の充実が求められる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、5段階が約16%である。本町の児童は、基礎的・基本的な内容の定着、それを活用する力の育成に課題があり、特に5段階の児童の育成が必要である。
・温度の変化に伴って変わる析出する量について、グラフを基に考察して分析することに課題がある。
・グラフから読みとった事実と、その事実を根拠として解釈したことを記述することについての指導の充実が求められる。

〈課題〉

・5段階の分布状況については、5段階が約14%である。基礎的・基本的な内容の定着、それを活用する力の育成に課題があり、特に5段階の生徒の育成が必要である。
・仮説を設定し、検証する実験を計画したり、検証できた事実を日常生活に活用したりすることに課題がある。
・観察、実験の結果を分析して解釈したり、他の考察を検討し説明したりすることについての指導の充実が求められる。

【改善策】

○ 今後、以下示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。

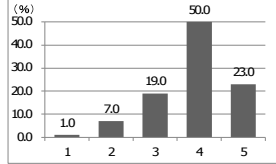
- 〔小学校〕(国語科) ・自分の考えを整理し、文章にまとめるなど「書く活動」を重視。
・自分の考えと他の考えを比較し、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えを分かりやすく表現する活動の重視。
- (算数科) ・主体的な問題解決を図るために、問題把握と見通しをもつ場面の重視。
・自分の考えと他の考えを比較し、有用性、簡潔性、一般性、正確性等の数理的なよさに気付く場面の重視。
- (理科) ・事実と事実を比較したり、関係付けたりして科学的な見方や考え方へと高める活動の重視。
・考えたことを分かりやすく他者に説明するなどの場面で、自分の考えを説明するだけでなく、その考えを導き出した経緯や根拠を説明する活動の重視。
- 〔中学校〕(国語科) ・感じたことや考えたことを他の人に話したり、文章に書いたりする活動の重視。
・根拠を示しながら書いたり、話し合ったりする活動の重視。
- (数学科) ・主体的な問題解決を図るために、生徒に自分の考えを持たせるための教師の発問と板書の重視。
・結果だけでなく、問題解決の方法や手順を説明する活動の重視。
- (理科) ・問題意識を持って問題解決ができるための問題解決の過程の重視。
・比較、関係付け、条件制御、推論等を用いた観察・実験と結果の考察をする活動の重視。

【別紙様式】

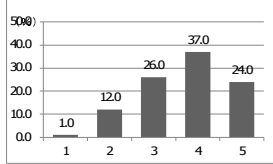
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

長島町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



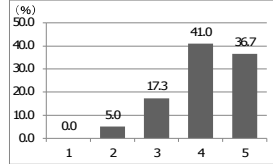
〔国語B〕



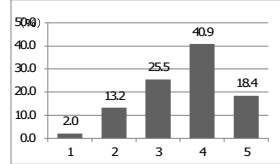
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、全国とほぼ同じであるが、Aと比較してBの上位層が少ない傾向が見られ、本町の子供たちは中位層の活用する力の底上げを図る必要があると言える。
- ・領域別に見ると、「書くこと」に課題があり、指導の工夫改善が必要である。
- ・B問題では資料から適切な情報を得て、それを整理してまとめて書くことに課題がある。

【中学校】
〔国語A〕



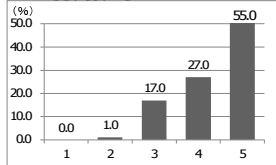
〔国語B〕



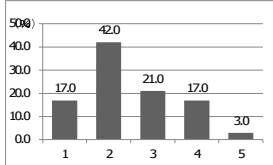
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、全国とほぼ同じであるが、Aと比較してBの2・3の段階が多い傾向が見られ、本町の子供たちは下位層及び中位層の活用する力の底上げを図る必要があると言える。
- ・領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」にやや課題があり、指導の工夫改善が必要である。
- ・目的をもって文章を読み取り、話したり聞いたりする活動を通して、情報を整理し、まとめる活動の充実が必要である。

〔算数A〕



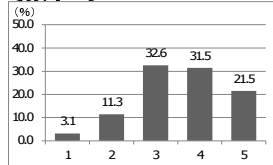
〔算数B〕



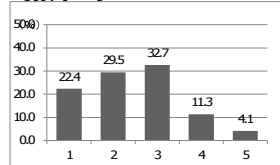
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、全国とほぼ同じであるが、Bの1・2の段階が多い傾向が見られ、本町の子供たちは活用や下位層の底上げを図る必要があると言える。
- ・領域別に見ると、「数と計算」及び「数量関係」に課題があり、指導の工夫改善が必要である。
- ・示された情報を正しく読み取り、整理し、その関係を図や表に表し、筋道を立てて説明する活動の充実が求められる。

〔数学A〕



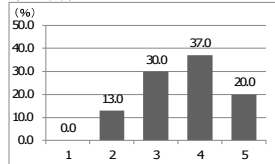
〔数学B〕



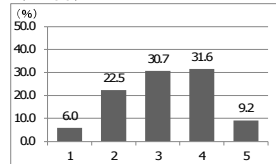
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、全国とほぼ同じであるが、Bの1～3の段階が8割を超えており、本町の子供たちは下位層及び中位層の底上げを図る必要があると言える。
- ・領域別に見ると「関数」及び「資料の活用」に課題がある、指導の工夫改善が必要である。
- ・問題の意味を理解し、数学的表現を用いながら筋道立てて考え、まとめる説明したりする活動の充実が求められる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、全国とほぼ同じであるが、2・3の段階が多い傾向が見られ、本町の子供たちは下位層及び中位層の底上げを図る必要があると言える。
- ・知識及び活用とともに成果が見られるが、区分別で見ると、「物質」にやや課題があり、指導の工夫改善が必要である。
- ・観察・実験を通して、見通しをもち根拠を明らかにし、筋道立てて考察する学習活動の充実が求められる。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、全国とほぼ同じであるが、1～3の段階が多い傾向が見られ、本町の子供たちは下位層及び中位層の底上げ及び上位層を更に伸ばす必要があると言える。
- ・活用する力にやや課題が見られ、分野別に見ると、「化学的領域」に課題があり、指導の工夫改善が必要である。
- ・観察・実験の結果を基に分析・解釈した結果を、他者と比較検討しながらまとめていく学習活動の充実が求められる。

【改善策】

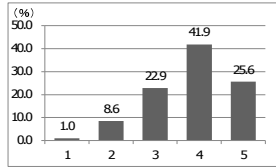
- 今後、以下に示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにする。
- ◎ 中学校を中心とした、小中連携による、学力向上策を具体的に設定し、それに沿って授業改善を図るとともに、中学校においては、各教科担当教諭による町内共通の評価問題を作成し実施する。
- 〔小学校〕(国語科)・単元を貫く言語活動の設定及び読書活動の充実
- ・自分の考えや意見を持ち、他者と交流する学習を通して、自分の考えを再考しまとめて書く活動の充実
- (算数科)・資料や図、表から得られた情報を整理し、根拠を示しながら説明できる力の育成を図る授業の充実
- ・習得した学習内容を確かめたり深めたりする時間の確保と、活用する力を高める問題に取り組む時間の確保
- (理 科)・予想や仮説を立てて観察・実験を行い、根拠や理由を明らかにして説明する活動の充実
- ・学習を通して得た知識を科学的な言葉で整理したり、まとめたりする活動の充実
- 〔中学校〕(国語科)・教材等から得られた情報を基に、整理したり話したりしながら、適切にまとめていく活動の充実
- ・目的に応じて文章の特徴を捉える指導の充実
- (数学科)・実生活の場面に結び付ける数学的活動を取り入れた授業の充実
- ・解決の方法に焦点を当て、習得した知識から何を、どのように活用すればよいかを考え、判断していく授業の充実
- (理 科)・予想や仮説を設定し、観察・実験を基に検証し、適切にまとめていく活動の充実
- ・実生活と関連付けながら検証したり、考え・まとめたことを話したり説明したりする授業の充実

【別紙様式】

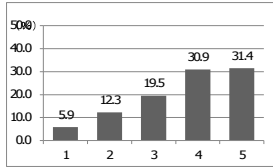
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

霧島市教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



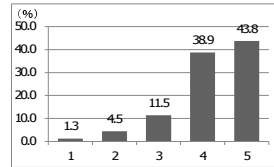
〔国語B〕



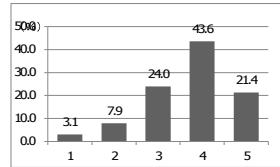
〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、A問題やB問題で、4、5段階の児童がやや多い傾向が見られる。
- ・文中における主語と述語、修飾と被修飾との関係など、基本的な文章構成についての理解に課題がある。
- ・課題解決等の過程において、目的に応じて適切に引用する力に課題がある。

【中学校】
〔国語A〕



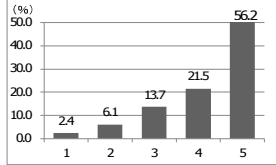
〔国語B〕



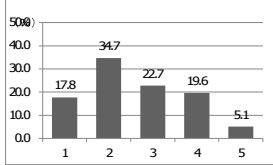
〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、A問題で4、5段階の生徒が80%以上と多く、B問題で4、5段階の生徒がやや多い傾向が見られ、本市の生徒は、知識の定着が概ね図られている。
- ・比喩や反復などの表現の技法に関する内容に課題がある。
- ・多様な情報に触れながら、問題意識をもったり新たな発想を得たりすることに課題がある。

〔算数A〕



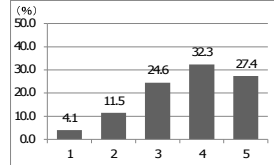
〔算数B〕



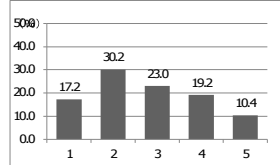
〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、A問題で、5段階の児童が50%を超えているが、B問題では、1、2段階の児童が50%を超えるなど、活用力に課題がある。
- ・数量の関係を図と関連させて理解したり、示された情報から2量の割合を正しくとらえたりすることに課題がある。
- ・図形の性質や概算などを活用して処理したり、結果から解決に至る根拠を示したりすることに課題がある。

〔数学A〕



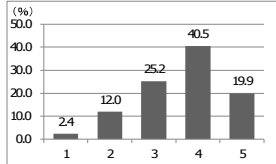
〔数学B〕



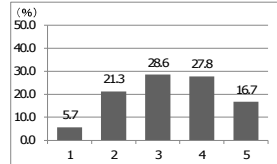
〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、A問題では4、5段階の生徒が、B問題では1、2段階の生徒がやや多く、活用力に課題がある。
- ・一次関数について、表・式・グラフを相互に関連付けて理解することに課題がある。
- ・証明の必要性と意味を理解することや、図形の性質を証明の方針を立てて書くことや、証明された問題の証明を振り返り、新たな性質を見いだすことに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、1、2段階の児童が少なく、3、4段階の児童がやや多い。
- ・実験・観察の結果を基に分析し、事実と解釈の両方を示して表現することに課題がある。
- ・実験・観察の結果について、グラフや表を活用してまとめ、活動の目標に照らして、正しく読み取ることに課題がある。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、1、2段階の生徒が少なく、3～5段階の生徒がやや多い。
- ・実験・観察に当たって、実験の対象や目的に応じて、実験・観察の構想を練り、比較や関連付ける活動に課題がある。
- ・実験・観察の結果について、変数が多い複雑なグラフや表を正しく読み取り、考察することに課題がある。

【改善策】

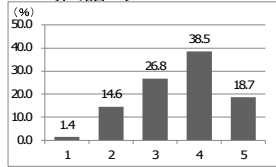
- 今後、以下示す事項について、本市の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。
- 〔小学校〕 (国語科) 文中の語句の役割や語句相互の関係についての初歩的な理解に向けた指導の充実
(算数科) 文、図、式等の意味を理解し、相互の関連付けを図る活動の充実
図やグラフに表したり既習の知識と関連付けを図ったりしながら解決に向けての根拠を見出し、説明できるようにする指導の充実
(理科) 実験・観察を積極的に行い、対象や目的に応じて工夫したり、操作したりする活動の重視
観察・実験から得られた事実と、事実から解釈したことを整理して、考えを説明する活動の重視
- 〔中学校〕 (国語科) 複数の資料から得た情報を自分と結びつけて考える学習の重点化
(数学科) 証明を読んだり、証明の結果や過程を振り返ったりする場面を設定することで、新たな証明問題を解決する活動の充実
二つの数量関係を見だし、その関係を表・式・グラフを用いて考察したり、その特徴を説明したりする活動の充実
(理科) 実験・観察を積極的に行い、対象や目的に応じて、構想を練ってまとめる活動の重視
実験・観察で得られた事実を、グラフや表にまとめ、そこから規則性を見出し、表現する活動の重視

【別紙様式】

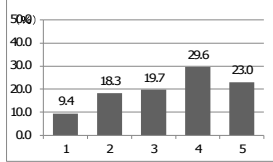
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

伊佐市教育委員会

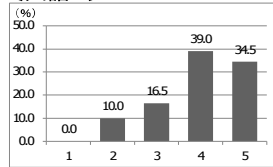
【小学校】
〔国語A〕



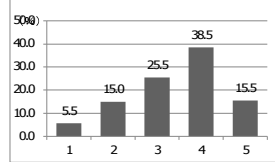
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



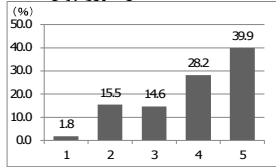
〈課題〉

・5段階の分布状況については、基礎力・活用力の上位層において、昨年より割合が高くなっている。しかし、B問題において分布が広がっており、1～2段階の割合が多く、本市の児童は活用する力に課題があると言える。
・複数の資料を読み、要旨を捉えることや適切な情報を取り出し、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように、自分の考えをまとめることに課題がある。

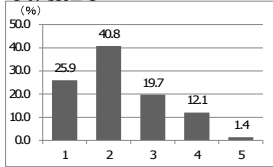
〈課題〉

・5段階の分布状況については、B問題において改善がやや見られるが、1～2段階の割合が多い傾向が見られ、本市の生徒は、活用する力に課題があると言える。
・複数の資料から情報を読み取り、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように、また根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。

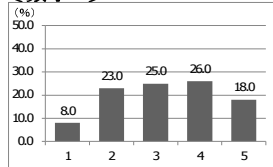
〔算数A〕



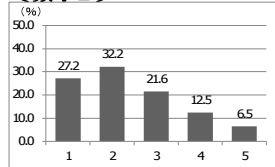
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



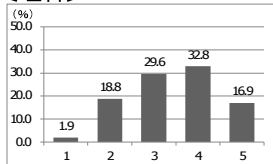
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A・B問題ともに、基礎的・基本的知識の定着が図られていない状況である。特にB問題において1段階及び2段階の割合が6割を越える。昨年との比較においても、基礎力の低下により、活用力がかなり下がっており、活用する力にも課題があると言える。図に示された数量の関係を読み取り、比較量を求めることや、示された情報を整理し、筋道を立てて考え、判断した理由を言葉や数を使って説明することに課題がある。

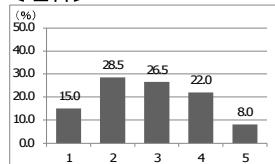
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題もB問題においても分布が広がっている傾向が見られ、特にB問題において、1段階及び2段階の割合が6割近い傾向が見られ、本市の生徒は活用する力に課題があると言える。
・小数を含む一元一次方程式、空間における図形的位置関係を的確に捉えること、構想を立てて説明することに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・5段階分布において、中位層に集中している傾向が見られる。
・実験・観察から調べた結果(記録)に基づき、視点をもって考察し、分析したことを記述することに課題がある。
・グラフに示された事実を読み取り、その内容を根拠を明確にしながら、分かりやすく説明することに課題がある。

〈課題〉

・5段階の分布状況については、1～3段階が多い傾向が見られ、本市の生徒は知識及び活用ともに低い状況にあると言える。
・観点別に見ると、自然事象についての知識・理解に関する問題に課題がある。観察や実験の結果を分析し、科学的な見方をして考察すること、またグラフや資料に基づいて、自分の考えを検討することに課題がある。

【改善策】

○ 今後、以下に示す事項について、本市の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。

〔小学校〕(国語科) ・必要な情報を収集し整理する中で、自分の考えを話したり、書いたりする学習活動の工夫
・事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて書く活動の充実

(算数科) ・資料や図・表などから読み取った情報を整理し、筋道を立てて根拠を明確にして解決に導く活動の充実
・課題解決の過程に沿って、学習活動を振り返る時間や習熟を図る時間の確保

(理科) ・実験や観察の結果を分析し、根拠を明らかにして考えを説明する活動の重視
・実験や観察から得た知識を、日常生活に関連づけて考える活動の充実

〔中学校〕(国語科) ・読み取った情報を整理する中で、根拠を明確にして、自分の考えを書く活動の重視
・文章を読んで得られた知識を他の人に向けて説明する活動の重視

(数学科) ・数量や図形などについての知識・理解の習熟を図る時間の確保や家庭学習の充実
・問題解決に必要な情報を収集し、根拠を明確にし、論理的に説明することができるような活動の重視

(理科) ・学習した知識・技能を活用できるように、関連した自然事象などについて、まとめたり説明したりする学習場面の充実
・実験や観察の結果を分析し、根拠を明らかにして考えを説明する活動の重視

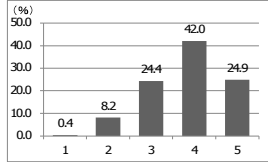
【別紙様式】

平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

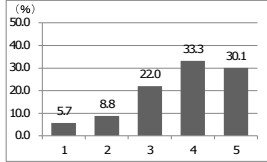
始良市教育委員会

【小学校】

〔国語A〕

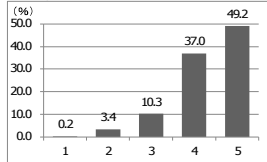


〔国語B〕

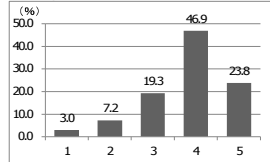


【中学校】

〔国語A〕



〔国語B〕



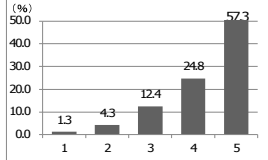
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、国語Aは、4と5の段階が約7割である。国語Bは、4と5の段階が約5割と、基礎学力は定着傾向だが、活用や上位層の伸びに課題がある。
- ・話し手の意図をとらえながら聞き方を工夫する問題に課題がある。
- ・目的や意図に応じ、指定された内容面の条件に応じて、取材した内容を整理しながら記事を書く問題に課題がある。

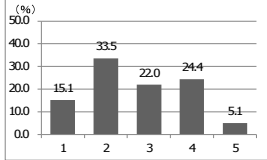
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、国語Aは、4と5の段階が約9割である。国語Bは、4と5の段階が約7割と、基礎学力は定着傾向で、活用や上位層の伸びについて改善傾向にある。
- ・読む能力や書く能力、特に情報を整理し、自分の考えをまとめて書くことに関する問題に課題がある。
- ・品詞の分類に関する問題や、文章の中心的部分と付加的部分を読み分けて、要旨をとらえる問題に課題がある。

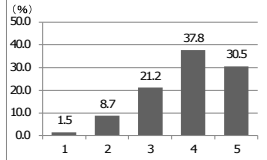
〔算数A〕



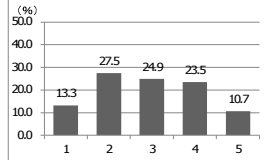
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



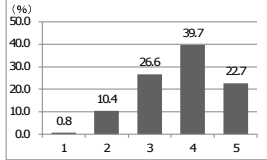
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、算数Aは、4と5の段階が約8割である。算数Bは、4と5の段階が約3割で、基礎学力は定着傾向だが、活用や上位層の伸びに課題がある。
- ・数学的な考え方や数量や図形についての知識・理解に関する問題に課題がある。
- ・基準量や比較量を求めるといった割合に関する問題や、根拠となる事柄を過不足なく説明する問題に課題がある。

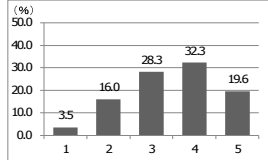
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、数学Aは、4と5の段階が約7割である。数学Bは、4と5の段階が約3割である。特に活用や上位層の伸びに課題がある。
- ・図形や関数に関する問題に課題がある。
- ・式の意味を理解して、その結果を数学的な表現を用いて説明する問題や、帰納や演繹の観点から証明の必要性と意味をとらえる問題に課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、理科は、4と5の段階が約6割である。基礎学力・活用ともに定着傾向だが、上位層の伸びに課題がある。
- ・どの領域・評価の観点も全国平均を上回っているが、記述式の問題や科学的な思考・表現の問題に課題がある。
- ・正答を選択できているが、求められた条件に応じて根拠を過不足なく説明する問題に課題がある。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、理科は、4と5の段階が約5割である。基礎学力・活用ともに定着傾向だが、上位層の伸びに課題がある。
- ・どの領域・評価の観点も全国平均を上回っているが、科学的な思考・表現の問題に課題がある。
- ・条件に着目して条件制御を行いながら実験を計画する問題に課題がある。

【改善策】

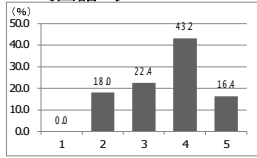
- 今後、以下示す事項について、本市の学力向上施策の実施の重点として取り組むようにしていく。
- 〔小学校〕 (国語科) ・目的や意図に応じて聞き方を工夫する力を高める指導の充実
 ・条件は何が挙げられているかをとらえたり、条件を満たした文章になっているかを確認したりといった、条件を満たした文章を書く力を高める指導の充実
- (算数科) ・示された状況を整理し、図や数直線に整理して、「基準量」「比較量」「割合」といった割合の関係を正しくとらえさせる指導の充実
 ・論理の飛躍をすることなく、相手に的確に伝わるように、根拠となる事柄を過不足なく説明する力を高める指導の充実
- (理科) ・観察・実験の結果と考察を分けて記述させる指導の充実や、児童の発言に対して根拠を問い返したり、順序立てて結論まで導くような指導の充実
- 〔中学校〕 (国語科) ・根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書く力を高める指導の充実
 ・読み取った情報を整理したり、関係付けたりして自分の考えをまとめさせる指導の充実
- (数学科) ・一次関数における変化の割合や対応の関係をとらえさせ、式で表現する力を高める指導の充実
 ・具体的な事象を読み取り、式などの数学的な解釈に基づいて事柄が成り立つ理由を説明する力を高める指導の充実
- (理科) ・目的意識を持って観察・実験に取り組ませるために、実験企画を生徒自身にしっかりと考えさせる指導の充実や、観察・実験の結果を根拠として他者と考えを深めていく指導の充実

【別紙様式】

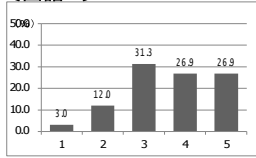
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

湧水町教育委員会

【小学校】
〔国語A〕



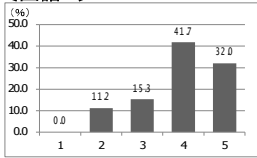
〔国語B〕



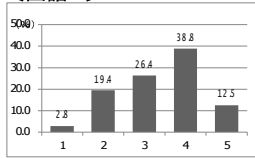
〈課題〉

・5段階の分布状況については、国語A、Bともに5段階の児童の割合が全国平均を下回っており、中位層、上位層の引き上げが求められる状況である。質問紙調査で自分の考えを発表する機会や活動が少ない、自分の考えを他人に説明することが苦手と感じている児童が多いことから、自分の考えを書き、説明し、高めたり広げたりする授業改善が必要である。
・国語Aについては、「漢字を正しく書く」「文中の主語を捉える」こと、国語Bにおいては、「目的に応じて中心文を捉える」ことなどに課題が見られる。

【中学校】
〔国語A〕



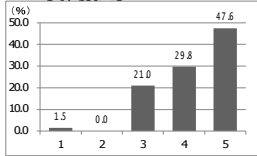
〔国語B〕



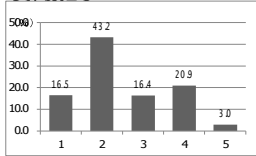
〈課題〉

・5段階の分布状況については、昨年度に引き続き、国語A、Bともに5段階の生徒の割合が全国平均をやや下回っており、今後、中位層並びに上位層の引き上げが求められる状況である。
・国語Aにおいては、「目的に応じて要旨をとらえる」「効果的に伝えるように書く」「正しい運筆や手紙の書き方を理解する」こと、国語Bにおいては、「文章の中心部分と付加的な部分を読み分け、要旨を捉える」「表現の工夫について自分の考えを持つ」ことなどに課題が見られる。

〔算数A〕



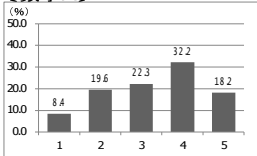
〔算数B〕



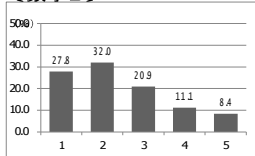
〈課題〉

・5段階の分布状況については、算数Bで2の段階の児童の割合が全国平均を大きく上回っており、下位、中位層の引き上げが求められる状況である。調査問題の解答時間に不足を感じたり、無答率が高かったり、苦戦している状況がある。とりわけ、記述式の設問の正答率が低いので書く活動を取り入れた授業改善が求められる。
・算数Aについては、「180°より大きい角の大きさを理解する」こと、算数Bにおいては、「割引後の値段を求める」ことなどに課題が見られる。

〔数学A〕



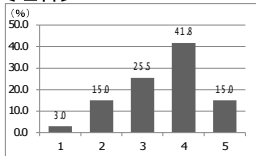
〔数学B〕



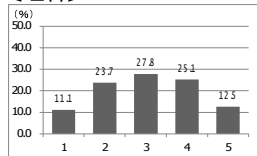
〈課題〉

・5段階の分布状況については、数学A、Bともに5段階の生徒の割合が全国平均を下回っており、中位層、上位層の引き上げが求められる状況である。数学Bについては、低位から中位層にかけて分布が広がっており、基礎的・基本的事項の定着と平行して活用する力を高める授業改善が必要である。
・数学Aについては、「同位角や確立の意味理解」「比例、反比例のグラフについての理解」、数学Bについては、「与えられた式や表を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する」ことなどに課題が見られる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況については、概ね全国平均と同様である。5の段階の児童の割合が全国平均を下回っているため、中位層、上位層の引き上げが求められる状況である。
・観点別平均正答率で見ると各観点で全国平均に近く、問題形式別では記述式が下回っている。設問別に見ると、「顕微鏡の操作方法の理解」「植物の適した栽培場所を選んだだけを書く」「温度計が高くなる順番」「メスリンダーで一定の水を図り取る」ことなどに課題が見られる。また、記述式の設問の正答率が低いなどの課題が見られる。

〈課題〉

・5段階の分布状況については、概ね全国平均と同様である。5の段階の児童の割合が全国平均を下回っているため、中位層、上位層の引き上げが求められる状況である。
・観点別平均正答率で見ると「科学的な思考・表現」が低く、問題形式別では短答式が下回っている。設問別に見ると、「天気記号から風力を読み取る」「凸レンズによる実像ができるときの像の位置や大きさについて説明する」「音の高さが高くなった根拠を選ぶ」「課題に対して適切な考察を記述する」ことなどに課題が見られる。

【改善策】

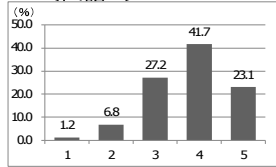
- 今後、以下示す事項について、本町の学力向上施策の実施の重点として取り組むようにしていく。
- 〔小学校〕(国語科) ・目的や意図を捉えながら聞き、また、聞き取った内容について、自分の考えとの共通点や相違点についてまとめる活動の重視
・目的や意図に応じて記事に見出しをつけたり、取材した事柄から伝えたいことを明確にして記事に書いたりする活動の重視
(算数科) ・算数的活動を通して、図、式、表、グラフとの関連付けを図ったり、途中の過程を書いたりなどして考えを振り返る活動の充実
・思考・判断したことを書く時間や伝え合い、練り合う時間を確保し、自分の言葉で表現する活動の重視
(理科) ・対象や目的に応じて観察器具を適切に操作することができるようにする指導の充実
・観察・実験の結果をもとに、根拠や理由を明らかにして自分の考えを他人に伝える活動の重視
- 〔中学校〕(国語科) ・伝えたい事柄が明確になるように文章の構成をしたり、相手に効果的に伝えるように書いたりする活動の重視
・文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりする活動の重視
(数学科) ・正の数と負の数の意味を実生活の場面に結び付ける活動の重視
・与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する指導の充実
(理科) ・要因が複数ある場合の自然の事象・現象に関する実験を計画できるようにする指導の重視
・観察・実験の結果を分析して解釈し働きや規則性を見出す指導の充実

【別紙様式】

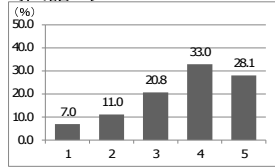
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

鹿屋市教育委員会

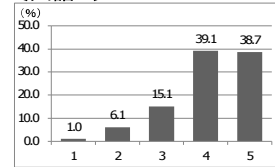
【小学校】
〔国語A〕



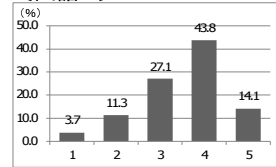
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



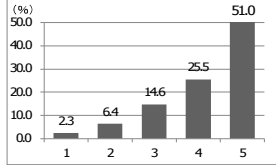
〈課題〉

・5段階の分布状況では、A問題で4及び5段階の児童が64.8%であり、例年に比べ落ち込みが見られ、基礎的・基本的な内容の定着に課題がある。B問題は、全国とほぼ同等かやや下回っている状況であり、思考力・判断力・表現力の育成に課題がある。
・文章の組み立てや重要語句の理解に課題がある。
・事実と感想、意見などを区別して書いたり、文章と図を関係づけて自分の考えを書いたりすることに課題がある。

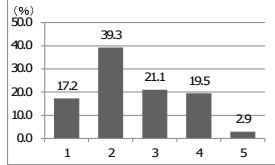
〈課題〉

・5段階の分布状況では、A問題で4及び5段階の生徒が77.8%であるものの、昨年度より5段階の生徒が減少しており、定着を高めることが課題である。B問題は、前年度から改善したが、5段階の生徒が少なく、思考力・判断力・表現力に課題がある。
・表現技法や語句等の理解・活用について課題がある。
・読み取った複数の内容から適切な情報を選択し、根拠を明確にして自分の考えが正確に伝わるように書くことに課題がある。

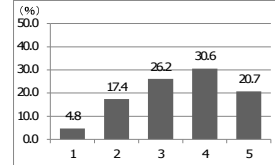
〔算数A〕



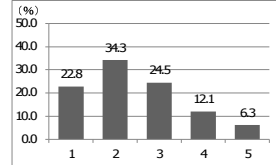
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



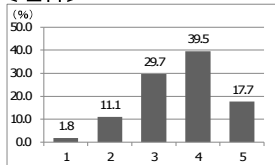
〈課題〉

・5段階の分布状況では、A問題で4及び5段階の児童が76.5%と多く、特に5段階の児童が半数を超えており、概ね基礎的・基本的な内容の定着が進んでいる状況にあるが、1～3段階の児童を伸ばすことに課題が残る。B問題では、1及び2段階の児童が半数を超えており、思考力・判断力・表現力の育成に課題がある。
・複数の基礎的・基本的な内容や複数の情報を関連づけたり、発見的に考察したりして記述することに課題がある。

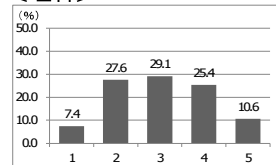
〈課題〉

・5段階の分布状況では、A問題で1～3段階の生徒が多く、基礎的・基本的な内容の定着に問題があると言える。B問題では、1及び2段階の生徒が半数を超えており、思考力・判断力・表現力の育成に課題がある。
・数量関係を文字式に表すことは、本市の継続した課題である。
・等式の変形や図形の性質、証明などの基本的な内容の定着及び、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・多くの設問で全国平均と同等かやや上回っている状況であるが、5段階の分布状況では5段階の児童が少なく、基礎的・基本的な内容のより一層の確実な定着と、思考力・判断力・表現力の育成に課題がある。
・異なる内容の基本的な知識を組み合わせて思考することや、グラフ・観察結果を基に分析・考察することに課題がある。

〈課題〉

・5段階の分布状況では、1及び2段階の生徒が多く、基礎的・基本的な内容の定着から科学的な概念を使用して思考することまで、いずれの領域においても課題がある状況である。
・予想を検証するための観察・実験の方法を計画したり、その結果を基に適切な考察することに課題がある。
・日常生活における事象を解き明かすことに対して、科学的な思考力や表現力を発揮することに課題がある。

【改善策】

○今後、本市の学力向上の施策として、これまで以上に児童生徒が主体的に活動し、力のつく質の高い授業づくりを推進するとともに、特に下記の項目を授業改善の重点として取り扱うこととする。

〔小学校〕 (国語科)

- ・自分の考えを理由や根拠を明確にして表現する活動の充実
- ・目的意識や相手意識を明確にした問題解決的な言語活動(単元を貫く言語活動)の充実

(算数科)

- ・基礎的・基本的な内容について根拠を考えさせ、理解を深める思考場面の充実

(理科)

- ・資料や図表等に含まれる複数の情報を整理し、比較し、関係づけ、根拠を示して説明する活動の充実
- ・自然事象への興味関心を高め、見通しをもって観察・実験の方法を考える活動の充実

〔中学校〕 (国語科)

- ・観察・実験の結果を基に分析・考察し、実感を伴った理解ができる活動の充実

(算数科)

- ・基本的な知識・技能について活用をとおして理解を深める学習の充実

(数学科)

- ・読み取った複数の内容から適切な情報を選択したり、根拠を明確にして自分の考えを表現する活動の充実

(理科)

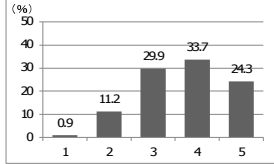
- ・基礎的・基本的な内容を深く理解するため、思考活動を重視した主体的な活動の充実
- ・問題の解決方法や判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実
- ・予想を検証するための観察・実験の方法を計画し、実感を伴って理解する活動の充実
- ・複数の結果を基に考察したり、日常生活の事象に関連づけたりするなど科学的な概念の理解を深める活動の充実

【別紙様式】

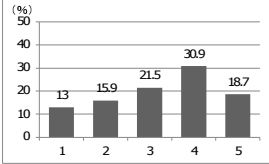
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

垂水市教育委員会

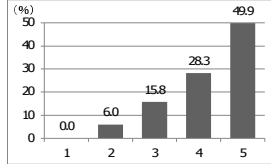
【小学校】
〔国語A〕



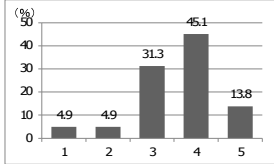
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



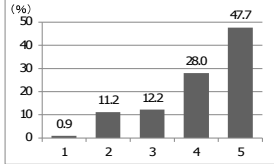
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国の分布状況と同じ傾向が見られるが、本市の児童はB問題において成績上位層が少なく、下位層が若干多くなっている。
- ・下学年において習得すべき基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分であり、指導の充実が求められる。
- ・図やグラフなどを読み取り、関係づけたりするなど、自分の考えを書くことに課題があり、指導の充実が求められる。

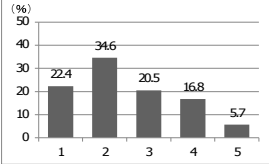
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国の分布状況と同じ傾向が見られるが、本市の生徒はB問題において成績上位層が少なく、中位層が若干多くなっている。
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使ったり、単語の類別について理解したりすることに課題があり、指導の充実が求められる。
- ・目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出し、それを基に自分の考えをまとめる点に課題があり、指導の充実が求められる。

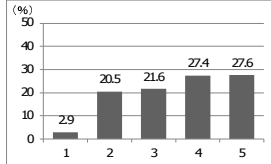
〔算数A〕



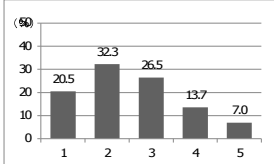
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



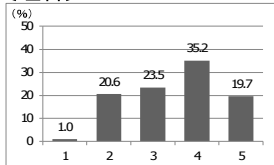
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国の分布状況と同じ傾向が見られるが、本市の児童はB問題において成績上位層が少なく、下位層が若干多くなっている。
- ・下学年において習得すべき基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分であり、指導の充実が求められる。
- ・基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題があり、指導の充実が求められる。

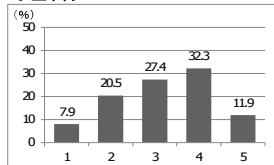
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国の分布状況と同じ傾向が見られるが、本市の生徒はB問題において成績上位層が少なく、中位層が若干多くなっている。
- ・必要な情報を選択し、的確に処理を行い、数学的な表現を用いて解釈した理由を説明することに課題があり、指導の充実が求められる。
- ・数量の関係を捉え、一元一次方程式を解くことに課題があり、指導の充実が求められる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国の分布状況と同じ傾向が見られる。
- ・下学年において習得すべき基礎的・基本的な知識・技能の定着が不十分であり、指導の充実が求められる。
- ・観察、実験の結果を整理し、考察して分析した内容を記述することに課題があり、指導の充実が求められる。
- ・グラフを基に事象を関係づけながら、考察して分析することに課題があり、指導の充実が求められる。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国の分布状況と同じ傾向が見られるが、本市の生徒は中位層が若干多くなっている。
- ・実験を計画することに課題があり、指導の充実が求められる。
- ・基礎的・基本的な知識や技能を活用し、グラフや資料などに基づいて、自らの考えや他者の考えを検討して改善することに課題が見られ、指導の充実が求められる。

【改善策】

○ 今後、本市においては、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させ、問題解決的な学習に基づいた授業を展開することを中心に据えた学方向上に努める。具体的には、以下に示す事項について、本市の学力向上施策実施における重点として取り扱うようにする。

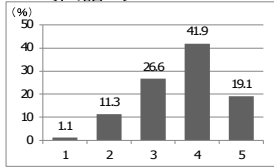
- 〔小学校〕(国語科) ・主語と述語、修飾と被修飾の関係に注意し、文の構成を理解する指導の充実
 ・文章と図やグラフなどの資料を関係づけて、自分の考えをまとめる指導の充実
- (算数科) ・計算の結果を見積もり、計算の仕方を考え、結果を振り返って確かめる活動の充実
 ・様々な考えを批判的に考察し、考えの妥当性を評価するとともに、それを基に考えを修正する指導の充実
- (理 科) ・変化とその要因とを関係付けて考える活動の充実
 ・事実と解釈したことを示し、判断の根拠や理由を説明する指導の充実
- 〔中学校〕(国語科) ・言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにする指導の工夫
 ・伝えたい事柄が、相手に効果的に伝わるように書く指導の工夫
- (数学科) ・事柄や数量の関係を捉え、その関係を文字式に表す活動の充実
 ・数学的な解釈に基づいて、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実
- (理 科) ・観察や実験の結果を分析して解釈できるようにする活動の充実
 ・自らの考えや他者の考えを、検討して改善できるようにする活動の充実

【別紙様式】

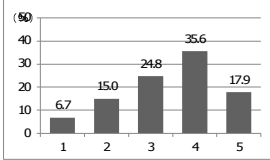
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

曾於市教育委員会

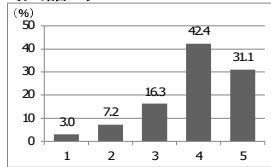
【小学校】
〔国語A〕



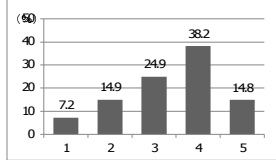
〔国語B〕



【中学校】
〔国語A〕



〔国語B〕



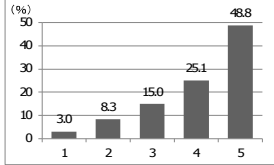
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題・B問題ともに、4の段階が最も多くなっている。1・2の段階の底上げはもとより、3・4の段階を伸ばし切れていない現状がある。
- ・新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えたり、文章と図とを関係付けて、自分の考えを書いたりすることに課題がある。
- ・話の内容に対する聞き方を工夫することに課題がある。
- ・文の中における主語を捉えることに課題がある。

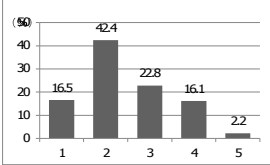
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題・B問題ともに、4の段階が最も多くなっている。1・2の段階の底上げはもとより、3・4の段階を伸ばし切れていない現状がある。
- ・聞き手に分かりやすい言葉に直して話すことに課題がある。
- ・語句の意味を実際の様子と結び付ける理解に課題がある。
- ・単語のもつ文法的な役割や品詞の名称、また、それぞれの品詞が文のどのような成文になるか理解することに課題がある。

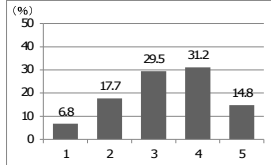
〔算数A〕



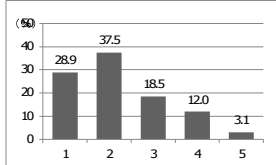
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



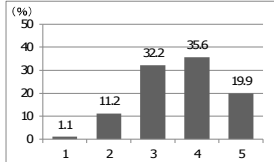
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題では、5の段階が最も多いが、B問題では、2の段階が最も多く、底上げが必要である。
- ・単位となる小数の幾つ分で、小数を表すことに課題がある。
- ・示された割引後の値段の求め方から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを言葉や数を用いて記述することに課題がある。
- ・切り上げた場合の見積もりの結果を基に、目標に達しているかについて判断することに課題がある。

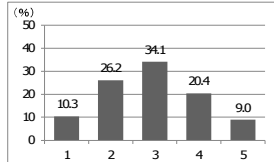
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題では、3・4の段階が多いが、B問題では、1・2の段階が多く、底上げが必要である。
- ・等式を目的に応じて変形することに課題がある。
- ・発展的に考え、条件を変えた場合の証明に課題がある。
- ・作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件理解に課題がある。
- ・試行結果から得られる確率の意味理解に課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、3・4の段階が多くなっており、3・4の段階を伸ばすことが今後の課題である。
- ・熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析し、他と比較して解釈した内容を記述することに課題がある。
- ・方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析することや星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析することに課題がある。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、2・3の段階が多くなっており、全体的な底上げが必要である。
- ・炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係していることを特定するための、対照実験を計画することに課題がある。
- ・音の高さと振動数の関係について、定着と活用に関する課題がある。
- ・平均値を求めて、比較して考えることに課題がある。
- ・適切な課題を設定し、解決の見通しをもつことに課題がある。

【改善策】

本市では、まずは「基礎的・基本的な知識・技能」の定着を目指し、確実な定着を見届ける場の確保を最重要課題とした授業改善に取り組んでいく。各教科においては、前述課題を踏まえ、以下の点で指導の更なる充実を図っていく。

〔小学校〕(国語科) 目的や意図に応じて聞き方を工夫する指導の充実

・目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して記事を書く指導の充実

(算数科) 日常生活の事象の解決に、目的に応じて概数や概算を活用し、結果の解釈と判断の根拠を数学的に表現する指導の充実

・日常生活の事象の解決に、割合の考えを活用して、合理的に判断する活動の充実

(理科) 事実と解釈したことを示して、判断の根拠や理由を説明する指導の充実

・方位を捉えながら、月や星を観察する指導の充実

〔中学校〕(国語科) 根拠を明確にして、自分の考えを書く指導の充実

・相手や目的、状況に応じて話す指導の充実

(数学科) 図形の性質に着目し、数学的な表現を用いて問題解決の方法を説明する活動の充実

・数学的な解釈に基づいて、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実

(理科) 日常生活や社会の特定の場面において、理科で学習した知識・技能を活用できるようにする指導の充実

・予想や仮説を設定し、検証する実験を計画できるようにする指導の充実